

ALINCO

デジタル簡易無線機（総務省技術基準適合品）

AMBE方式　無線局種別コード：3R/3T（登録局）

DR-DPM80

ユーザーガイド




本書は本製品をお使いになる方向けの簡易ガイドです。登録手続きや機能の設定をされる無線機管理者の方は詳細説明書をお読みください。右の二次元コードからアクセスしてお読みいただけます。本書は運用中、使用者が参照しやすい場所に保管されることをお勧めします。また補足シートや正誤表などが入っている場合は本書とあわせて保管してください。

【重要】

本書の注意書きは使用者が安全にお使いになるためのものです。管理者が遵守すべき内容は一部含まれていません。管理者は必ず詳細説明書の注意書きもお読みください。

ALINCO	株式会社	電子事業部
支店・営業所と電子サービスセンター（SC）		
東京	〒103-0027 東京都中央区日本橋2丁目3番4号 日本橋プラザビル 14F	TEL.03-3278-5888
名古屋	〒460-0003 名古屋市中区錦2丁目2番24号 いちぢの内のサウスビル 3F	TEL.052-212-0541
大阪 / SC	〒541-0043 大阪府中央区高麗橋4丁目4番9号 淀屋橋タイルビル 13F	TEL.06-7636-2361
福岡	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目1番34号 エコービル 2F	TEL.092-473-8034

<p>無線・電源機器のアフターサービスに関するお問い合わせは</p> <p>お買い上げの販売店またはフリーダイヤル ☎ 0120-464-007</p> <p>全国どこからでも無料でお客様のご相談窓口につながります。</p> <p>受付時間：月曜～金曜 AM10 - 12 / PM 1 - 5（土日祝日と休業日を除く）</p> <p>Eメール：https://www.alinco.co.jp/>事業案内>電子事業部>お問い合わせ</p>	
--	---

記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。本文中ではTM、®などのマークを省略しています。許可なく複製、複写を禁じます。This product is intended for use only in Japan.

PS1151
FNFH-EE
Copyright Alinco,Inc.

使用上のご注意

（必ずお読みください）

- DCケーブルの接続時は、極性を間違えないように十分注意してください。赤はプラス(+)極、黒はマイナス(-)極です。
- 本機の定格電圧はDC13.8VとDC26.4Vでいわゆる12V車と24V車に対応します。29V以上の電圧が掛かると故障や事故の原因となり、12V以下、15～23V程度の電圧だと電源が入らない、定格通りの出力が出ないなどの不具合の原因となります。
- 本機は調整済みです。ユーザーが改造、仕様変更することは法律で禁止されています。分解されたり、銘板やラベル類を剥がされた製品は修理をお断りすることがあります。また内部の部品は販売しておりません。
- 水などでぬれやすい場所、金属製の粉じんのある場所、油煙や湯気が当たるような場所には設置しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 販売店で事前にプログラミングされている場合、本書に書かれた機能の一部は制限されていることがあります。詳しくは販売店にお問い合わせください。
- 本機の秘話機能は第三者に通信内容が聞かれる可能性を低くするものであり、無線の性質上、通信の秘密を保証するものではありません。
- 本機はIP54相当の防塵・防湿性能がありますが、リアパネルのゴムキャップを閉じていないと防塵・防汚性能を保証できません。またフロントパネルが本体から外された状態やEMS-97が接続されていない状態では防塵・防沫なりません。DCケーブル部は防塵・防沫ではありません。完全防水構造ではありませんので水没、流水での洗浄などは絶対におやめください。防塵・防沫に使われているゴムキャップなどは経年劣化が生じ、防塵・防湿性が失われることがあります。弊社では防塵・防湿性についても製品と同じ保証期間です。ご了承ください。
- リアパネルに貼られている黒いシールは剥がさないでください。防水性能を維持できなくなります。
- 電源ケーブルはなるべく破損しないようにお使いください。屈曲・ねじり・キズ・熱は故障の原因となります。
- 機種名、数字や記号が書かれたラベル類は、絶対に剥がしたり、他のシールなどで隠したり、貼り替えたりしないでください。技術適合の基準から外れ、違法無線機とみなされることがあります。
- 車載型無線機を運転手が行行中に運用する際は、安全運転を最大限優先してください。操作パネルを走行中に注視していると道路交通法違反で罰せられる可能性があります。
- 外部の音が聞こえないような状態にして運転しないでください。外部アンプや、大型スピーカーをつないで周りの音が聞こえないような大音量で受信したり、イヤホンやヘッドホンを使ったりすると罰せられることがあります。ほとんどの地方自治体では運転中にイヤホン・ヘッドホン類を使用すること自体を規制していますのでご不明な点は最寄りの警察署などにお尋ねください。
- 本機を自動運転、自動安全装置のある自動車に搭載するときは、送信中にそれらが誤動作しないか安全な場所で確認してからお使いください。

■**電波法上のご注意**

- 本機はデジタル簡易無線登録局です。使用するにはあらかじめ、登録申請や開設届の提出が必要になります。
- 他局の通信を妨害したり、傍受した内容を他に漏らしたり、傍受した内容を盗用することは法律で固く禁じられており、違反すると罰せられます。
- 本機は日本国の河川湖沼を含む陸上、領海と接続水域、及び排他的経済水域内でお使いになります。上空での送信及び海外での使用は違法で罰せられます。
- 住所や名前が変わったり、廃局したり、他人への貸し出しをするときも届け出が必要 です。詳しくは管轄の総合通信局にお尋ねください。

株式会社エクセリ(代理店届出番号C1909977) 東京都墨田区菊川13 17 2アドン菊川ビル4F / 大阪府大阪市中央区久太郎町1 9 5 URL: https://www.exseli.com/

- 電化製品の近くで使うと電波障害を与えたり受けたりすることがあります。原因となる機器から離れてお使いください。
- 幼児の手の届くところに置かないでください。
- 直射日光の当たる場所に設置しないでください。発熱・故障の原因となります。プラスチックやゴムなどが多用されるマイクのようなアクセサリは熱や日光で劣化しますので特にご注意ください。
- 電子機器に影響を与える場合は使用しないでください。自動車内で使用した場合、車種によりまれに車両電子機器に影響を与えるものがあります。チューナー・テレビなど、他の機器に影響を与えるようなときは距離を離して設置してください。
- 廃棄は一般家電と同様です。地域のルールに従ってください。
- 放熱をよくするため、無線機はできるだけ困わないように設置してください。
- 雷に対する保護はなされていません。雷が接近しているときや、発生が予想されるときは屋外につながるアンテナケーブルや電源ケーブルを無線機から外してください。雷は直撃以外にもこれらのケーブルに高い電圧が掛かり故障を起こす原因になります。
- 隣接して駐車した自動車間での通話など極端にアンテナ間の距離が近い場合、高出力で送信するとお互いの無線機に悪影響を及ぼすことがあります。極端に近い距離に通話相手がいるときはお互いにローパワーに切り換えて通話することをお勧めします。
- 車のヒーターの吹き出し口など、温度が高くなる場所には置かないでください。内部の温度が上がり、ケースや部品が変形・変色したり、火災の原因となることがあります。

■ トランシーバー本体の取扱いについて

- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本体の電源を切り、電源ケーブルを抜いてください。
- 電源ケーブル、マイクコードは無理に引っ張ったり引き抜いたりしないでください。故障の原因となります。

■ 保守・点検

- お手入れの際は安全のため必ず本体の電源を切り、電源ケーブルを抜いてください。
- 汚れた場合は柔らかいきれいな布で乾拭きしてください。パソコンやデジカメのようなAV機器を清掃するために市販されているクリーニング用具が最適です。
- ベンジン、シンナー、洗剤などの溶剤を使うと外装が変質したり、ショートを誘発して故障の原因となるため絶対に使わないでください。

■ Warning

This product is permitted to use within Japanese territory and territorial-water only. Aviation use is strictly prohibited. A radio operator license is NOT required but a registration to authority is mandatory prior to use. Registration instruction is included. Misuse violates the Radio Law of Japan and shall be subject to fine or punishment.

The AMBE+2™ voice compression software included in this product is protected by intellectual property rights including patent rights, copyrights and trade secrets of Digital Voice Systems, Inc. The user of this software is explicitly prohibited from attempting to decompile, reverse engineer, or disassemble the object code, or in any other way convert the object code into a human-readable form. US Patent Nos.: #8,595,002, #8,359,197, #8,200,497, and #6,912,495.

付属品一覧

本製品には以下のものが付属しています。ご使用前に確認してください。

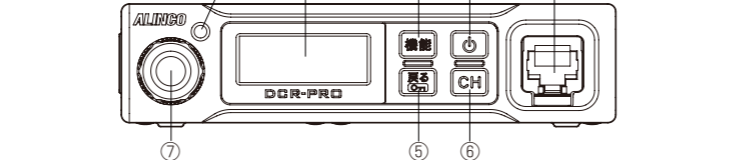
<input type="checkbox"/> 本体	<input type="checkbox"/> タッピングネジ(M5×20)×4
<input type="checkbox"/> スピーカーマイク EMS-97	<input type="checkbox"/> 六角ナット(M5)×4
<input type="checkbox"/> DCケーブル UA0118	<input type="checkbox"/> スプリングワッシャー×4
<input type="checkbox"/> マイクハンガー	<input type="checkbox"/> 平ワッシャー×4
<input type="checkbox"/> モバイルブラケット EBC-72	<input type="checkbox"/> ユーザーガイド(本書)
<input type="checkbox"/> タップタイトネジ(M3×8)×2	<input type="checkbox"/> 申請書類一式
<input type="checkbox"/> ネジ(M5×12)×4	<input type="checkbox"/> 保証書

●保証書に購入の日付が記載されていないときは、レシートを保証書と一緒に保管してください。ご購入日が証明できる書類がないと保証サービスは無効となります。ご注意ください。

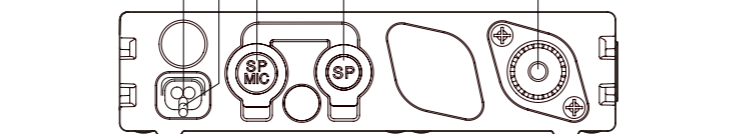
●設置や取付けに使用するネジは、付属または指定のものをお使いください。

各部の名称と機能

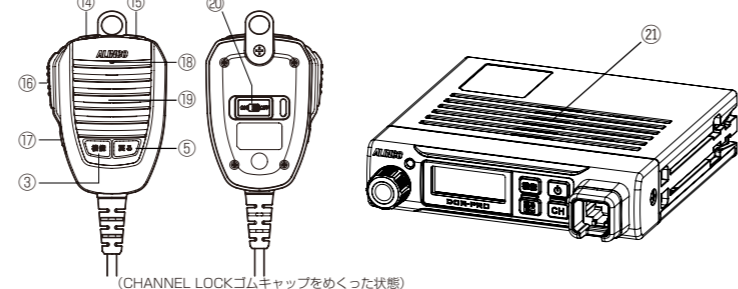
■**フロントパネル**



■**リアパネル**



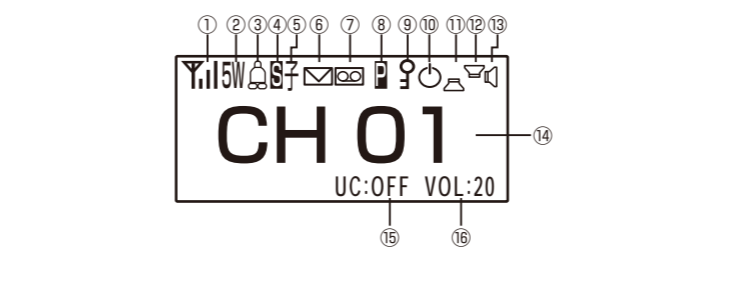
■**スピーカーマイク(EMS-97)**　■**本体上部**



No.	名称	機能
①	インジケーター	緑点灯：受信中、赤点灯：送信中 水色フラッシュ：短縮動作で音量固定時 白フラッシュ（赤または緑点灯中）：緊急通報送信または受信青フラッシュ：呼び出しあり（ベル機能動作時）／未読メッセージあり
②	ディスプレイ	本書中の“ディスプレイ表示”を参照してください。
③	機能キー	押すとセットモードを開きます。長押しに短縮動作を割り当てることができます。詳しくは裏面で説明しています。
④	電源キー	長押しして電源を入／切します。
⑤	戻るキー	セットモード操作時に押します。長押しでキーロックの設定と解除ができます。セットモードでキーロック以外の短縮動作に割り当てることができます。個別通信時は通信相手を切り替えられます。
⑥	CHキー	チャンネルを変えるときに押すと番号が点滅します。ダイヤルを回して番号を選び、もう一度押して確定します。セットモードで長押しに短縮動作を割り当てられます。
⑦	ダイヤル	待受画面では音量、チャンネルを選択します。セットモードでは設定項目や設定値を選択します。
⑧	前面SP / MICコネクタ	付属のスピーカーマイク(EMS-97)を接続します。
⑨	電源ケーブル（赤・黒）	12V車と24V車のバッテリーに直接接続できます。固定局ではDC13.8V/3A級の直流安定化電源に接続します。
⑩	ACCケーブル（青）	外部電源コントロール機能を使用するときに使います。
⑪	背面SP / MICコネクタ(4極)	オプション品のねじ込み式スピーカーマイクを接続します。使用する際には無線機の電源を切り、しっかりと奥までねじ込んでください。取付けが緩いと異常な動作、工具を使って無理にねじ込むと破損の原因になります。
⑫	外部SP端子	市販のΦ3.5mmモノラルミニプラグの外部スピーカー(8Ω推奨)を接続する端子です。接続すると本体スピーカーから音声は出力されません。
⑬	アンテナコネクタ	インピーダンス 50Ωのデジタル簡易無線専用市販アンテナを接続します。自作アンテナの使用は禁じられています。
⑭	DOWN キー	押すとチャンネル番号、設定項目が降順（DOWN）に変化します。セットモードで長押しに短縮動作を割り当てられます。
⑮	UP キー	押すとチャンネル番号、設定項目が昇順（UP）に変化します。セットモードで長押しに短縮動作を割り当てられます。
⑯	PTT キー	押すと送信します。離すと受信に切り替わります。
⑰	サブPTT キー	初期状態では動作しません。セットモードで短縮動作を割り当てられます。
⑱	マイク	口から5cmほど離して、この穴に向かって話します。マイク穴をステッカーやラベルで塞がないでください。

⑱	スピーカー（EMS-97）	スピーカー出力をEMS-97に設定すると音声聞こえます。
⑳	ロックスイッチ	ONで誤操作防止のためUP/DOWNキーをロックできます。
㉑	本体スピーカー	設置時、スピーカーを塞がないように配慮してください。

■ ディスプレイ表示



	説明
①	Y 受信した信号の強さに応じて四段階に点灯します。送信時には送信マークになります。
②	5W 送信出力レベルに応じて表示します。
③	B ベル機能設定時に点灯します。
④	S 秘話通信設定時に点灯します。
⑤	子 子機間通話禁止機能で子機設定時に点灯します。
⑥	✉ 未読のショートメッセージがある場合に点灯します。
⑦	📄 未聴の録音データがある場合に点灯します。
⑧	P プライベートチャンネル機能動作時に点灯します。
⑨	🔒 キーロック動作時に点灯します。
⑩	🔌 オートパワーオフ機能設定時に点灯します。
⑪	👤 前面SP / MICコネクタに接続するスピーカーを有効に設定したときに点灯します。
⑫	👤 背面SP/MICコネクタ(4極)に接続するスピーカーを有効に設定したときに点灯します。
⑬	🔊 本体スピーカーを有効に設定したときに点灯します。
⑭	CH 01 送信・受信チャンネル番号(周波数)や各設定内容を表示します。
⑮	UC:OFF ユーザーコードや自局ID、グループを表示します。
⑯	VOL:20 現在の音量を表示します。

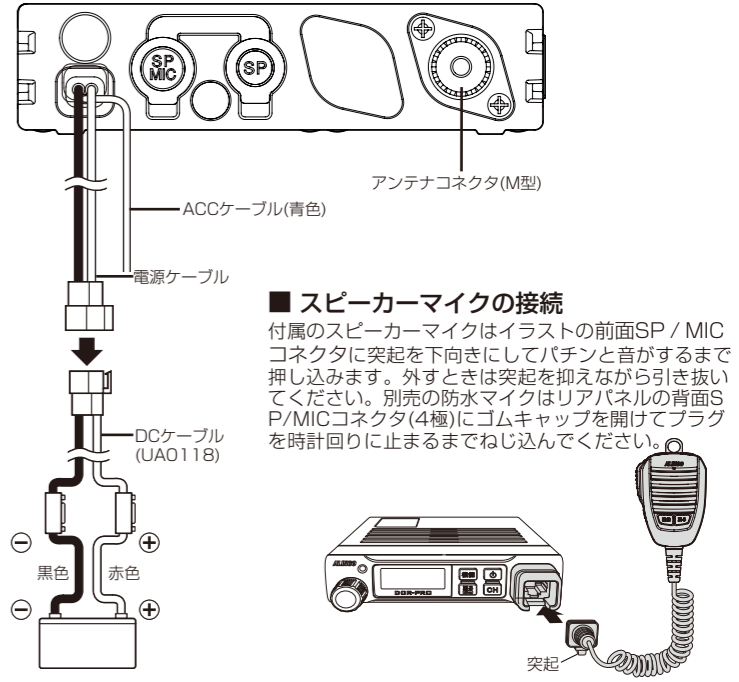
●セットモードで初期値と異なる表示方法に変更すると上記のアイコンが表示されないことがあります。（例：Sメーター表示をオン）

●拡声器モードを「拡声器のみ」または「拡声器+送信」に設定しているときは①～⑬のアイコンは黒色で表示します。

電源の接続と設置方法

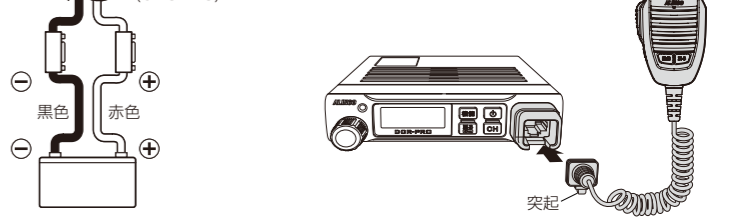
■ 電源・アンテナの接続

- 電源は車のバッテリー(12/24V)に、直接付属のDCケーブル(UA0118)を接続し本機の電源ケーブルとDCケーブル(UA0118)を接続してください。
- リアパネル右のアンテナコネクタにアンテナの同軸ケーブルを接続します。本機のアンテナコネクタは汎用性が高く、使いやすいインチ・ミリ両用(M/PL)タイプを採用しています。専用のものに比べて嵌め合いに遊びが多く感じられますが、異常ではありません。



■ スピーカーマイクの接続

付属のスピーカーマイクはイラストの前面SP / MICコネクタに突起を下向きにしてパチンと音がするまで押し込みます。外すときは突起を抑えながら引き抜いてください。別売の防水マイクはリアパネルの背面SP/MICコネクタ(4極)にゴムキャップを開けてプラグを時計回りに止まるまでねじ込んでください。



■ フロントパネルについて

本体は、上下どちらを向いても良いようにセットできます。銘板ラベルの貼ってある面なるべく外気が当たるように設置してください。取外し、取付けにはプラスチックライバーが必要です。取外し方は、右図を参照ください。

※銘板ラベルにある二次元コードは、弊社HPにある詳細説明書のリンクです。
※取付けは取外しと逆の手順で行います。

●保証書に購入の日付が記載されていないときは、レシートを保証書と一緒に保管してください。ご購入日が証明できる書類がないと保証サービスは無効となります。ご注意ください。

●設置や取付けに使用するネジは、付属または指定のものをお使いください。

■ 外部電源コントロール機能

自動車の「イグニッション」キーと連動して無線機の電源をオン・オフする機能です。詳しくは詳細説明書を参照ください。

操作する前に必ずお読みください

全てのデジタル簡易無線登録局には電波法に基づく下記の制限が設けられています。

■**キャリアセンス**

混信や妨害を防止するため、使用中のチャンネルでは送信をさせない機能です。送信操作してもディスプレイに「CH使用中」と表示されます。受信を示すアンテナアイコンが消えるまで待つか、別の空きチャンネルを探してください。

■**タイムアウトタイマー(送信時間制限)**

1回の通信で連続して送信できる時間は、「5分以内」と電波法で定められています。時間を超えると強制的に送信解除され、そのあと1分間は送信できなくなります。Aさんが5分間話し続けるだけでなく、AさんとBさんが間を置かずにときばき通話しているも1回の通信とみなされます。応答するまでに3秒以上の間を取るとタイマーはリセットされます。初期設定では3分経つと残り時間が表示され、時間制限の30秒前にピピピ、5秒前にピー音で警告します。

■**通信の互換性について**

本機の音声のデジタル化技術(コーデック)はAMBE+2™方式です。他社のデジタル簡易無線登録局ともチャンネルを合わせればユーザーコードと32,767通りの秘話を使って通話できます。RALCWI方式とは通話できません。個別呼び出しや各社独自の技術を用いた機能はメーカーが違うと動作しません。

